

HE IS RISEN
CELEBRATE THE RESURRECTION



日本社会の現実と教会・宣教のデザイン



キリスト教福祉学専攻
inoue@tci.ac.jp

井上貴詞

第1回研究会を振り返りつつ

- 教会と地域を結ぶ宣教モデルとは？
- 教会は地域社会に派遣されている。
- 教会は、地域社会のニーズを知っているか？
- 地域社会は、その教会を認知しているか？
- 地域社会への『受肉の神学』??



Lūnem ijsuim dōlor xil zmal, cōnsectetur odip-
sōng est, sed diam nonummy nibh euismod tincidunt
ut laoreet dolore magna aliquam

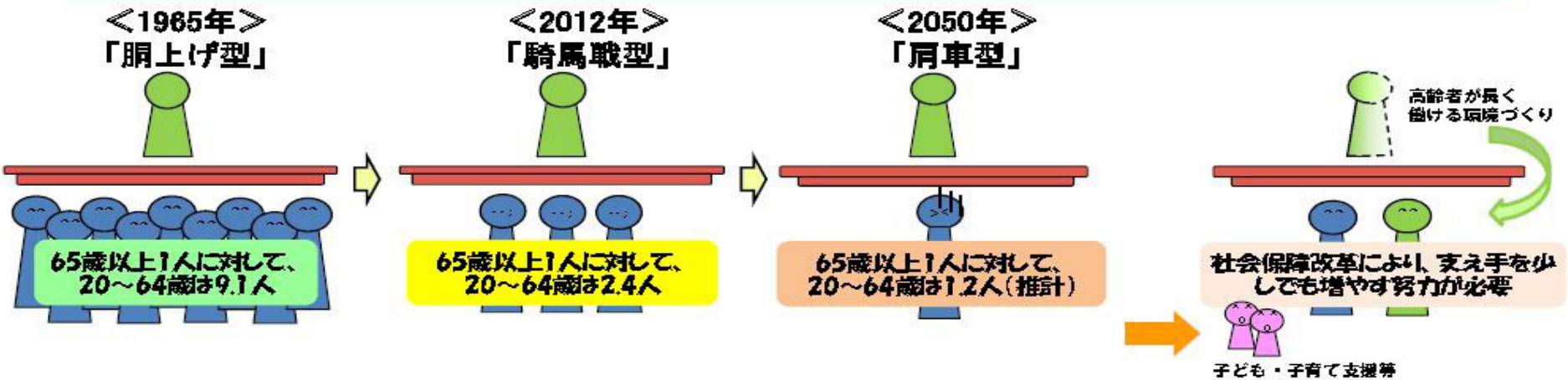


地域社会の現実① . . .

* 少子・高齢、少産多死、肩車型社会

「肩車型」社会へ

今後、急速に高齢化が進み、やがて、「1人の若者が1人の高齢者を支える」という厳しい社会が訪れることが予想されています。



| 人口(万人)・構成比 | 1965年 | 2012年 | 2050年 |
|------------|---------------|---------------|---------------|
| 65歳以上 | 623 (6.3%) | 3,083 (24.2%) | 3,768 (38.8%) |
| 64歳以下 | 5,650 (56.9%) | 7,415 (58.2%) | 4,643 (47.8%) |
| 20歳以上 | 3,648 (36.8%) | 2,252 (17.7%) | 1,297 (13.4%) |
| 19歳以下 | | | |
| 1年間の出生数(率) | 182万人 (2.14) | 102万人 (1.37) | 56万人 (1.35) |



(出所) 総務省「国勢調査」、社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」「(出生中位・死亡中位)、厚生労働省「人口動態統計」

地域社会の現実② . . .

* 虐待、自殺、孤独死、貧困、引きこもり等



「高齢世帯」
のち40%が
独居
(2040年)



子どもの(相
対的)貧困
13.1%



「若年層54.1、
壮年層64.1
(万人)の引き
こもり、居場
所の喪失



いじめ・虐待
(子ども、高
齢者、障害
者、外国人
労働者等)

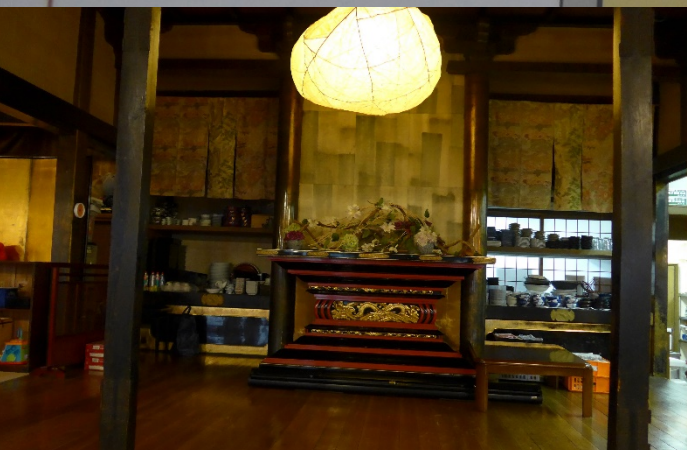
地域社会とコミュニティの再生

● 神社、仏閣等伝統的宗教ベースのコミュニティ再生



宗教を基盤としたソーシャルキャピタル(人々の中の協調的な行動を促す「信頼」「互酬性の規範」「絆」)が注目されている。

三草二木 西圓寺 案内図



The Japanese Society of Pray, Salvation and Heart mind

日本「祈りと救いところ」学会

創立記念大会

「無望の時代を生きる～新しい絆を求めて～」

大会長

島蘭 進

東京大学名誉教授
上智大学特任教授
上智大学グリーンケア研究所所長

日時

2014年 11月8日(土)

10:00～17:30

会場

PROGRAM

●基調講演 (10:10～)

「精神医療の先…祈りと救いのところへ」

講師：榎本 稔 (榎本クリニック)

座長：島蘭 進 (上智大学グリーンケア研究所)

●大会長講演 (11:15～)

「死と悲しみと希望—日本の宗教文化に即して」

講師：島蘭 進 (上智大学グリーンケア研究所)

座長：榎本 稔 (榎本クリニック)

第6回 日本「祈りと救いところ」学会
The Japanese Society of Pray, Salvation and Heart Mind

医療と宗教

事前申込み
9月30日(月)
振込締切

～マインドフルネス瞑想と祈り～

会期 2019年11月9日(土)
9:55～17:50 (受付開始 9:00～)

会場 ホテルメトロポリタン 富士の間AB(3F) ほかに
東京都豊島区西池袋1-6-1 (池袋駅西口から徒歩3分)

参加費 【会 員】事前/2,000円 当日/3,000円
【一 般】事前/3,000円 当日/4,000円
【学 生】事前/1,000円 当日/2,000円
※参加費のみ (参加者のみ) 振込会費/2,000円

※申し込みはホームページを参照ください。学会ホームページ <http://www.jpshn.jp/shinwaing/>

Program | メイン会場 富士の間AB(3F) [大会長] ケネス田中 (武蔵野大学)

大会長講演 10:00～10:30

仏教と医療の協力—宗教を警戒する日本社会におけるの期待

【講 師】ケネス田中 (武蔵野大学) 【座 長】榎本 稔 (榎本クリニック)

教育講演 10:35～11:30

マインドフルネス—基礎と発展

【講 師】越川 房子 (早稲田大学) 【座 長】張 賢徳 (東京大学)

基調講演 13:00～14:00

精神科医療におけるマインドフルネスの可能性

【講 師】川野 泰尚 (臨済宗建長寺派林善寺/RESM新横浜 睡眠・呼吸メカニカルクリニック)
【座 長】安田美彌子 (鳥取看護大学)

メインシンポジウム 14:10～16:10

医療と宗教～マインドフルネス瞑想と祈り～

【シンポジスト】宮崎 幸枝 (みやざきホスピタル)
川野 泰尚 (臨済宗建長寺派林善寺/RESM新横浜 睡眠・呼吸メカニカルクリニック)
白井 幸子 (ルーアル学院大学) 大下 大嗣 (高野山真言宗院千光寺/西京瞑想法教育研究所)
【座 長】島蘭 進 (上智大学グリーンケア研究所/東京大学)

公開講座 16:20～17:50

参加料 無料 「やめられない」を卒業しましょう～あらゆる「依存症」をたききるブッダの智慧～
【講 師】アルバムツレス・マナサーラ (スリランカ上座仏教) 【座 長】ケネス田中 (武蔵野大学)

日本「祈りと救いところ」学会 | 理事長 榎本 稔 (榎本クリニック) | 実行委員長 島蘭 進 (上智大学グリーンケア研究所)

お問い合わせ 学会事務局 TEL.03-3982-5345 | 〒171-0021 東京都豊島区池袋1-6-1 池袋メトロポリタンホテル 3F 榎本クリニック
FAX.03-3982-6089 E-mail: info@jpshn.jp

(学会ホームページ) <http://www.jpshn.jp/shinwaing/>

依存症者の回復の12ステップ

1. 私達はアルコールに対して無力であり、生きていくことがどうにもならなくなったことを認めた。
2. 私達は自分より偉大な力が、私達を正気に戻してくれると信じるようになった。
3. 私達の意志と生命の方向を変え、自分で理解している神、ハイヤーパワーの配慮の下に置く決心をした。
4. 探し求め、恐れることなく、生きてきたことの棚卸表を作った。
5. 神に対し、自分自身に対し、いま一人の人間に対し、自分の誤りの正確な本質を認めた。
6. これらの性格上の欠点をすべて取り除くことを、神にゆだねる心の準備が完全にできた。
7. 自分の短所を変えて下さい、と謙虚に神に求めた。

一般社団法人

日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会

第34回全国研究大会 in 金沢

生きづらさを聴こう

アルコールだ、薬物だと

四の五の言わずにソーシャルワーク!



8. 私達が傷つけたすべての人の表を作り、そのすべての人達に埋め合わせをする気持ちになった。

9. その人達、または他の人々を傷つけない限り、機会あるたびに直接埋め合わせをした。

10. 自分の生き方の棚卸を実行し続け、誤った時はただちに認めた。

11. 自分で理解している神との意識的触れ合いを深めるために、神の意志を知り、それだけを行っていく力を祈りと黙想によって求めた。

12. これらのステップを経た結果、霊的に目覚め、この話を他の人達に伝え、また自分のあらゆることに、この原理を実践するように努力した。

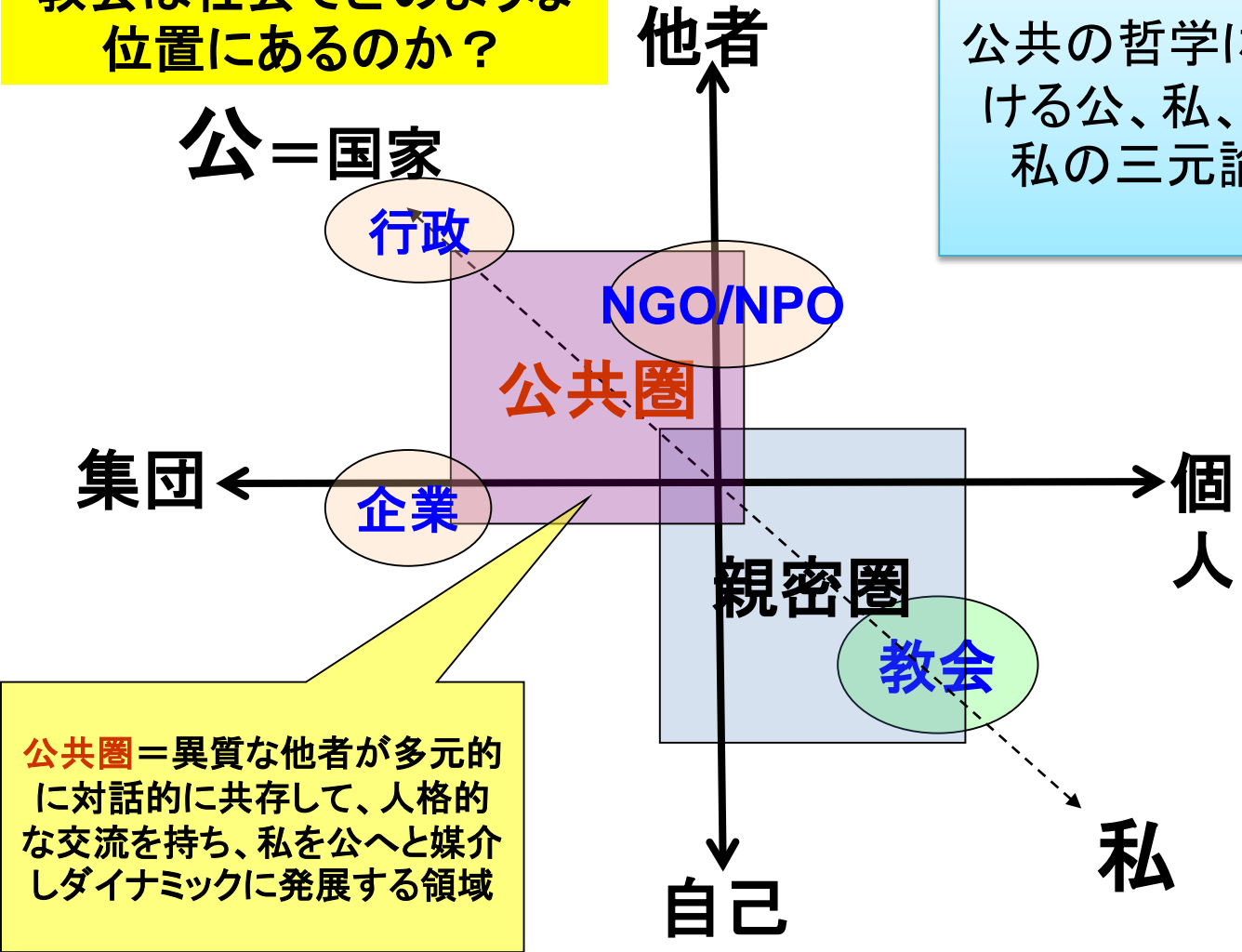


ソーシャル・キャピタルとは何か

- ソーシャルキャピタル(社会関係資本)とは、一般に人々の間の協調的な行動を促す「信頼」「互酬性の規範」「ネットワーク(絆)」を指す。
- ソーシャルキャピタルには、内部の人々の互酬性を安定させる「結束型」と外部とのつながりの潤滑油としての「橋渡し型」がある。公共哲学で言えば、前半は内向きで等質的な集団を強化する「親密圏」、後者は外向きで多様な社会的亀裂を超えて人々を包含する「公共圏」と言い換えられる。
- さらに、こうした結束型と橋渡し型を相互補完的に位置づける議論もあり、これは昨今の「親密圏」と「公共圏」を二分せずに循環させようとする宗教と社会の関係性の動きにも呼応する。

教会は社会でどのような位置にあるのか？

公共の哲学における公、私、公私の三元論



公共圏 = 異質な他者が多角的に対話的に共存して、人格的な交流を持ち、私を公へと媒介しダイナミックに発展する領域

ソーシャル・キャピタルと宗教の先行研究

- ソーシャルキャピタルと寺院（自死問題への取り組み、かかりつけ寺院構想）
- ソーシャルキャピタルと神社（鎮守の森コミュニティ・ネットワーク構想）
- キリスト教系NPO（ホームレス支援）
- 教誨師、病院チャプレン、天理教里親活動らに見る「橋を架け、絆を強める宗教的ケア」
- アジアの諸宗教とソーシャル・キャピタル（チベット仏教、タイの上座仏教、イスラム教、ヒンドゥ教など）

教会に福祉が近づくのではなく・ 福祉に教会が近づいている！

今日の福祉に求められているのは、大きな箱物を作る（それも必要だが）以上に、（分断された）人々の間のつながり（絆）を作ることであり、それぞれの個性が発揮できる居場所であり、その人にしかない（単純な経済的効率や利潤に置き換えられない）役割を果たせる場を提供すること。

そして、子どもから障がい者、高齢者、外国人などあらゆる人々を包含できる多様かつ支え合うことのできるコミュニティがその基盤として必要になる。

一方で教会の現実とは . . .

- * 世の中一般よりも少子高齢化が進んでいる。
- * 世の中の人々が求めている深いリアルな人格的交わりより、表面的な交わりになっていないだろうか。
- * 「日本の教会のひとつの現実...教会に足を運び、一見人とつながりがあるように見えながら、お互いの抱える苦労や悩みをほとんど知らない。」（向谷地生良）

鈴木文治 「インクルーシブ神学への道-開かれた教会のために」 新教出版社、2016年
「実存主義の残した『負の遺産』は、『神の前で独りで立つ』という信仰の個人主義的理解であり、それが『信仰の我ら性』を片隅に追いやった」 43頁

「創世記2章18節 「人が一人でいることはよくない。『彼に合う助け手』を作ろう」の助ける者とは、「彼に差し向かう者である助け手を造ろう」の意であり、この「差し向かい」こそが「神の似姿」
76頁

赤木善光『教會的キリスト教』自由が丘教會文庫、1974年、36-37頁

「教會がキリストの体である」という神学的命題が字義通りからだ的に受け取らせず、空体語にしてしまった。それは頭や理性でわかるものでなく、経験または体験すべきものであり、自ら親しくこれを体験するように私たちを招いている。



実例(1) 依存者のためのミーティングに会堂を提供

- 山梨県K教会
- 日本ダルクの代表、近藤氏の秘書をしていた佐々木氏が甲府に来て、呼びかけたのはキリスト教会の関係者でした。「どうか、力を貸してください。できる範囲でかまいませんから」ということで、週に二回、ミーティング会場として会堂を提供。メンバーの一人が礼拝に出席するようになって、受洗の恵みにあずかりました。彼が教会にいて教会の中にとてもよいものが生まれました。中学校も行っていない兄弟でしたが、定時制高校に通い、40歳で卒業、残念ながらその3年目に勤め先の鉄工所で事故があって召されました。現在2名が求道中です。
- 依存症と健常者には境界線がなく、誰でも同じような依存的傾向や弱さを持っています。また、人を色眼鏡で見てしまう自らの内にある差別が明確にわかり、それを取り払うことを学ばされました。また、ダルクのミーティングにおける人を裁かないで受け入れるということが、教会の交わりにも大きな影響を与えたと思います。
- ダルク: 1985年に日本で初めて誕生した薬物依存症者の回復のために作られた施設。DARCとはDrug(ドラッグ)Addiction(依存症、行動嗜癖)Rehabilitation(リハビリ)Center(施設)の文字の頭文字をとってDARC(ダルク)と呼ぶ。開設当初から行われている当事者が当事者を支援する方法は現在、ピアサポートと呼ばれ精神医療の治療においても注目されています。ダルクは2016年現在59団体83施設が全国にあります。

事例(2) 包括的宣教をめざす新潟県A教会

- 出張喫茶 社協からの要望、市からの助成金もあり。
- 喫茶、ビデオ、カラオケ(歌声喫茶)、本の貸し出し(三浦綾子、星野富弘ほか)
- 健康講演会、健康体操教室、高齢者の食事会など
- ほかに子ども食堂、絵本の読み聞かせ、軽食を食べながら子育ての悩みを分かち合う、講師からの学びも。イングリッシュクラブ、カウンセリング
- 社会福祉協議会とのタイアップ、民生委員との連携、地域のフードバンクの協力
- DV問題などは適切に専門機関を紹介する。
- 地域の痛みに寄り添い、共に生きることを教会のミッション・ステートメントとする。

クエスチョン：論点

- 地域の教会はどのくらい地域社会を知り、また地域の人々に認知されているか？
- 地域に派遣された教会がなぜ地域社会から浮いた存在となってしまうのか？
- 教会が地域に開かれ、地域に根付いていくために牧師に求められる資質は何か。信徒はどうあれば良いのか。